

「2014年がんばらんば国体」 優勝に向けて



Road Map

2014 ← 2010



「2014年常に日本のトップ4」 に向けて

すそ野を広げ、
育成の土台を堅固にし、
総合力を高めることで、
頂上を高くする。

ROAD MAP

グラスルーツからトップ育成までを
含めた **TOTAL VISION**



長崎が目指すサッカー



トレセンチームコンセプト

「アクション フットボール！」

～いつ どんなときでも アクションを起こす

一瞬の隙も与えない 一瞬の隙を突くサッカー
—を展開する～



攻守の切りかえの
速いサッカーを目指す



攻撃のコンセプト

ダイレクトプレーを目指しながらも、ボールを失わないで攻撃を展開する。(プレーの原則から導き出される、攻撃の優先順位を考えたアクションを起こす)



守備のコンセプト

FWからの積極的な守備で、中盤より高い位置でボールを奪い攻撃へつなげる。

(オンザボール, オフザボールの守備の原則を全員が理解し, 3ゾーンでの守備の仕方を全員で共通理解して守備をする)



FWに求められる能力

- **攻撃**: 裏をとるタイミング, スピード, フィニッシュの能力, FWとして起点になるキープ力, ヘディングは組み合わせによるがスピードor高さ
- **守備**: ボールを奪おうとする気持ち, チェイスिंगのタイミングやポジショニング, 相手ボランチに対するプレスバック, 70分間走り続ける攻守における運動量



MFに求められる能力

- **攻撃**: スペースを見つける目, サイドチェンジできる準備, トップを見つける目, ワンタッチパスでくさびを入れる, ミドルシュート,
- **守備**: 中盤での激しいボール奪取, コミュニケーションをとりながらの挟み込み, DFとの連携のプレスバック, カウンターを防ぐための1stDF, 攻守に関わり続ける運動量、縦パスを入れさせないポジショニング



DFに求められる能力

- **攻撃**: 正確なフィード(ロング・ショート), ボールを失わないポジセッション能力, FK CKでのヘディング, ボランチ・センターFWへのくさびのボール, チャンスの場面での攻撃参加
- **守備**: 1vs1で負けない守備, ゴール前のねばり強い守備, ヘディングの競り合いで負けない, インターセプトの能力, 最後の場面で体を張る, 攻撃時のリスクマネジメント, 攻守に関わる運動量



GKに求められる能力

- **攻撃**: 正確な判断とキック・スロー(ロング・ショート), ボールを失わないポゼッション能力,
- **守備**: 守備をオーガナイズするリーダーシップ、正確な基本姿勢からのキャッチ、ダイビング、などの技術、ピンチにも動じない戦う姿勢、ハイボールに対する正確な判断とキャッチ、最後まであきらめないで体を張る強い気持ち



選手の育つ課程

- 12歳 8月KT→10月NT→12月NT→2月ST
- 13歳 2月ST→5月NT→8月KT→11月NT→1月KT→2月ST
- 14歳 5月NT→8月KT→11月NT→1月KT
- 15歳 11月KT
- 16歳 4月KT→8月(ブ国)→9月(本国)
- 16歳 10月～3月北・南・沖縄3地域で
- 17歳 6月11月KT 12月御殿場地域対抗

KT=九州トレセン NT=ナショナルトレセン
ST=九州スーパートレセン



フットボールのゲームで 1試合300~500回パ

育成年代のゲームでもこの出現率を目指す！

	プロのゲーム		育成年代		
	1試合での出現率%	失敗率	1試合での出現率%	失敗	
ショートパス 10-20 m	75	10	75	20	50
ミドルパス 20-30 m	15	20	15	40	60
ロングパス 30m-	10	50	10	40	90

	スペイン		日本
	7	試合数	4
ピジャ5	6	勝ち	2
イニエスタ2	1	負け	1
プジョル1	0	引き分け	1
	58%	ポゼッション	42%
	103466	走行距離(m)	110483
	9406.0	平均(m)	10043.9

本田2
遠藤1
岡崎1

全	成功	成功率	パス	成功率	全	成功
4752	3803	80%	全	60%	1477	890
1088	876	81%	0~10m	71%	355	253
2956	2481	84%	10m~30m	65%	803	522
708	446	63%	30m~	36%	319	115

出現率

出現率

80%	23%	0~10m	24%	71%
81%	62%	10~30m	54%	65%
63%	15%	30m~	22%	36%



679	543	80%	1試合平均	60%	369	14223
-----	-----	-----	-------	-----	-----	-------

ワールドカップ 国別データ比較(パス&走行距離について)

名前	ロング	成功数	成功率	ミドル	成功数	成功率	ショート	成功数	成功率	総数	成功数	成功率	1試合平均		走行距離	
スペイン	708	446	63%	2956	2481	84%	1088	876	81%	4752	3803	80%	679	543	10962m	※延長1
ブラジル	454	266	59%	1708	1443	84%	696	545	78%	2858	2254	79%	572	451	10000m	
アルゼンチン	409	214	52%	1843	1487	81%	774	593	77%	3026	2294	76%	605	459	9878m	
ドイツ	635	337	53%	2463	1940	79%	850	588	69%	3948	2865	73%	564	409	10840m	
オランダ	708	361	51%	2233	1763	79%	797	541	68%	3738	2665	71%	534	381	10743m	※延長1
カーナ	458	206	45%	1374	1034	75%	570	406	71%	2402	1646	69%	480	329	11540m	※延長2
USA	366	162	44%	1023	746	73%	372	267	72%	1761	1175	67%	440	294	11837m	※延長1
パラグアイ	476	219	46%	1377	1005	73%	513	331	65%	2366	1555	66%	473	311	11017m	※延長1
ウルグアイ	582	256	44%	1704	1140	67%	782	494	63%	3068	1890	62%	438	270	10902m	※延長1
日本	319	115	36%	803	522	65%	355	253	71%	1477	890	60%	369	223	11613m ^{1.5}	※延長1

ワールドカップ 個人データ比較

30m~

10~30m

0~10m

名前	ロング	成功数	成功率	ミドル	成功数	成功率	ショート	成功数	成功率	総数	成功数	成功率	1試合平均		走行距離	
シャビ	112	66	59%	419	360	86%	138	118	86%	669	544	81%	95.6	77.7	11457m	
ランパード	35	17	49%	155	128	83%	64	52	81%	254	197	78%	63.5	49.3	10610m	
ファンホメル	59	37	63%	260	205	79%	66	49	74%	385	291	76%	55	41.6	9555m	
カカ	20	13	65%	79	61	77%	64	48	75%	163	122	75%	32.6	24.4	8982m	23分退場
イニエスタ	43	23	53%	228	173	76%	111	82	74%	382	278	73%	54.6	39.7	11013m	
メッシ	39	20	51%	191	134	70%	107	90	84%	337	244	72%	67.4	48.8	10463m	
エジル	52	26	50%	185	137	74%	93	70	75%	330	233	71%	47.1	33.3	9997m	
スナイデル	64	29	45%	212	158	75%	95	71	75%	371	258	70%	53	36.9	10468m	
遠藤	29	16	55%	110	78	71%	34	25	74%	173	119	69%	43.3	29.8	11755m	
長谷部	14	3	21%	69	43	62%	32	23	72%	115	69	60%	28.8	17.3	10957m	

4種 AvsB

全	成功	成功率	パス	成功率	全	成功
74	43	58%	全	29%	63	18
41	32	78%	0~10m	45%	33	15
21	7	33%	10m ~30m	#DIV/0!		
13	4	31%	30m~	10%	30	3

出現率

出現率

58%	55%	0~10m	51%	45%
33%	28%	10~30m		
31%	17%	30m~	49%	10%

74	43	58%	1試合平均	29%	63	18
----	----	-----	-------	-----	----	----



3種 AvsB

全	成功	成功率	パス	成功率	全	成功
73	39	53%	全	38%	61	23
27	18	67%	0~10m	48%	23	11
22	14	64%	10m~ 30m	57%	14	8
24	7	29%	30m~	17%	24	4

出現率

出現率

67%	37%	0~10m	48%	48%
64%	30%	10~30 m	23%	57%
29%	33%	30m~	39%	17%



国体U16 熊本遠征vs 佐賀戦(前半) 35分

全	成功	成功率	パス	成功率	全	成功
135	77	57%	全	#DIV/0!	0	0
86	59	69%	0~10m	#DIV/0!		
39	16	41%	10m ~30m	#DIV/0!		
10	2	20%	30m~	#DIV/0!		

出現率

出現率

	64%	0~10m		
	29%	10~ 30m	#DIV/0!	
	7%	30m~	#DIV/0!	



各年代におけるパスの出現率と成功率

	4種A		4種B		3種A		3種B	
	出現率	成功率	出現率	成功率	出現率	成功率	出現率	成功率
0~10	55%	78%	51%	45%	37%	67%	48%	48%
10~30	28%	33%			30%	64%	23%	57%
30~	17%	17%	49%	10%	33%	29%	39%	17%

	U16		日本		スペイン	
	出現率	成功率	出現率	成功率	出現率	成功率
0~10	64%	69%	24%	71%	23%	80%
10~30	29%	41%	54%	65%	62%	81%
30~	7%	20%	22%	36%	15%	63%



トレセンでクラブで

- 動きながら周りを観る
- スペースを持ったところからボールに寄る
- パスしたら動く(効果的なところへ) = 判断
- ボールを奪いに行く(個人でグループでチームで)

これができるのが良い選手



サッカー理解を深める

- 試合のクオリティを上げる
- 質の追求
- 勝利を目指しながら
- 育成年代でやるべきこと
- 大人になってからでは遅い



長崎県全体で試合のクオリティを上げていくことが
レベルの高い選手を育成することになる



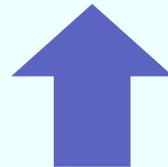
ロードマップの作成

現実の体制からではなく、目指す姿から逆算する。



長崎県サッカー界全体の考え方、方向性を共有
Grass Roots ～ エリート育成までのTotal Vision

強いリーダーシップの必要性



各種別、連盟等だけの改革では限界がある。

※それぞれの領域を超えたところで壁にあたっている



主要な軸

キッズ、キッズエリート

U-12に対する取り組み

NFAアカデミー

指導者養成

ゲーム環境

トレセン

その他



2014年、長崎をこういう姿にする

1. 競技環境：リーグ戦文化の定着
2. 3種年代の指導者の質の向上
3. 2種年代の指導者の質の向上
4. キッズ年代の充実
5. U-12年代の重要性の認識



ゲーム環境

ゲームが選手を育てる

日常のゲーム環境の質が育成に大きく影響

国内の日常が、各年代の育成にふさわしい、ハイプレッシャーのゲーム環境になっているか。

刹那的でなく長期的にトレーニング成果をあげていくためのゲーム環境になっているか。

たくましい選手を育成していくためのゲーム環境になっているか。

⇒ リーグ戦文化の醸成



リーグ戦創出に於ける5原則

1. 各種別とも基軸となるリーグ戦を年間通して行える環境を整える。
（8～9ヶ月にわたって、20ゲーム程度をバランスよく配置する）
2. リーグ戦は他のどの大会よりも優先してカレンダーを組む。
3. 連盟等の大会はこれをリスペクトするが、その開催時期を連盟間で重ねていく。
4. 県協会の主催ゲームはリーグ戦が母体となる。
5. 各郡市協会はリーグ戦の創出に取り組み、隣接する協会と連携を図り、リーグ戦文化の醸成に寄与する。

ゲーム環境のあり方

理想となる姿からの逆算

リーグ戦文化の創出から醸成

- ・年間を通した基軸となるリーグ戦の創出

(シーズン⇒1年の2/3 8~9ヶ月 カップ戦での中断あり)

- ・能力別リーグ

(能力に応じた誰もが楽しめる環境)

- ・複数チーム

(Bチームリーグではなく個人登録した選手全員が公式戦に出場できる)

リーグ戦文化

2種⇒リーグ間の入れ替え。

3種⇒上位リーグは組み替えない

4種⇒能力別リーグが必要か否か(年齢を考えた移動距離)



育成年代全体をトータルしたデザイン

1種別や1大会の改革ではない

	月 週	2				3				4				5				6				7				8				9				10				11				12				1			
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4				
4種	U-11			TM				TM				TM				TM				TM																													
	U-12																																																
3種	U-13																																																
	U-14・15																																																
2種	U-16																																																
	U-17・18																																																

TM⇒トレセンマッチデー

キッズ、キッズエリート(~U-10)

育成のためのより良い準備という位置づけで、U-12へつなげていく。

小さい頃からからだを動かしてサッカー、スポーツに親しみ、成長に適した刺激を受けることで、生涯にわたりスポーツを愛する人を増やすとともに、心身ともに健康でコーディネーションに優れた子ども達を長崎県内で増やす。

ゴールデンエイジの前の準備として、左右の足でボールを自由自在に扱うことができるようになった状態で、U-12以降の育成をより充実させることができるようにする。



今後の主要な取り組み

1. キッズ、キッズエリートのコングセプトの徹底

キッズ、キッズエリートガイドラインの内容の再検討
⇒コングセプトの徹底

2. サッカー外へのアプローチの強化

保護者向けハンドブック、チャレンジゲームetcはサッカーに限らず他競技団体、教育機関へのアプローチの強化

3. キッズから4種へのスムーズな移行

キッズ委員会と4種委員会の連携の強化

4. 保護者、関わる大人へのアプローチ

低年齢に成る程関わる大人の影響力は大きい

「めざせベストサポーター」「フェアプレーコンテスト」

「こどもエリアのキャンペーン」:ポスター、ハンドブック等



U-12に対する取り組み

サッカー選手としての将来の成長に必要なベースとしての基本要素をこの年代で高いレベルで獲得しておく。

最も技術習得が出来る年代⇒ゴールデンエイジ

U-12では多くの子ども達に大きな可能性があるため、より多くの選手に、日常的に良い働きかけをする必要がある



U-12指導の向上⇒A級U-12指導者ライセンスに毎年1名推薦

質の高い地区レベル(生活圏内)のトレセン活動を、全国で戦略的に充実させる
⇒モデル地区トレセンを県内3カ所に

U-12に適したトレーニング環境、試合環境の改善
⇒8vs8 9vs9(少人数ゲーム)、リーグ戦化



今後の主要な取り組み

「モデル地区トレセン」の考え方

A級U-12取得者を毎年1名排出し、モデル地区トレセンを3ヶ所にする。(大村・佐世保・島原)

内容、質、方向性をJFAとともに確認しながら進んでいく。

「モデル地区トレセン」数目標

2008年	1(大村)
2012年	2(佐世保)
2013年	3(島原)



NFAアカデミー

月に1回のトレセンデーに各カテゴリが集まりトレーニング・レクチャーなどを行う。(トレセンデーの確立・フットボールセンターの活用)

NFAアカデミーの設置の意義・目的

- ・プルアップ効果(可能性のある選手により高い環境)によるユース育成のさらなるレベルアップ
- ・育成のモデルを地域に提示する
(実際に選手育成を行なう)
- ・日本サッカー協会の育成フィロソフィーを県内に提示する
(同じコンセプトで活動する機関を長崎に増やしていく)



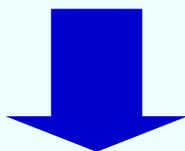
指導者養成

究極は指導者の質があらゆる問題に関わる

日常の指導の質を向上させるために、指導者のさらなる質・量の向上

量向上のための講習拡大に伴う、質のコントロール

指導者は子ども達の未来に触れている！



指導者の資質向上なくして、良い選手の育成なし！



国体U16化 九州記録

	2006	2007	2008	2009	2010	回数
福岡		○	○			2
佐賀		○	○		○	3
長崎				○	○	2
熊本	○				○	2
大分	○		○	○		3
宮崎		○		○	○	3
鹿児島	○	○	○			3
沖縄	○			○		2



長崎県種別指導者資格一覧 (チームに登録している者のみ)

2010.7.7現在

ライセンス	有資格者						無資格者
	S級	A級	B級	C級	D級	小計	なし
第1種 (65)	1	1	9	9	1	21	44
第2種 (55)	0	2	9	18	0	29	26
第3種 (120)	0	0	10	31	9	50	69
第4種 (159)	0	0	3	33	105	141	18
女子 (15)	0	1	1	8	3	13	2
シニア (11)	0	0	0	3	1	4	7
合計 (425)	1	4	32	102	119	258	166

現在ある各コースに関し

- ・養成目標の再確認・・・2・3種・女子の指導者養成の強化
(長崎県としてのルール化:2014までに)
- ・コース数の増加・発展の必要性、方法の検討

キッズリーダー:毎年2～3回開催(チーフインストラクター制度確立2010)

D級コーチ養成:指導実践の導入(長崎の課題を導入)

:2・3種向けの内容も追加

C級コーチ養成:指導実践3回、プレーの原則、プランニングの強化

リフレッシュ&B級トライアル:年2回の開催、積極的な上級養成

指導者の質の向上の軸として、再教育の充実:

リフレッシュ研修のさらなる充実、受講しやすさ向上

質の向上 ⇒ 指導者も世界基準へ

海外研修などへの推薦・情報の共有化など



トレセン

日本の育成の軸・発信源として、トレセン活動のさらなる充実

⇒ さまざまなトライ

1. 選手へのアプローチをより重視

双方向の流れ(選手の発掘強化 ⇄ 発信)の於ける発信に関しては、さまざまなツールが確立されてきた。



原点に戻り選手へのアプローチを中心に行なう

2. 継続した活動

月1回の単発な活動から、継続性を持たせる事でOn the pitchとOff the pitchの両面にアプローチ

3. 年齢段階に応じた適正人数の構成

可能性のある選手の招集と、活動を充実させる選手数のバランス



トレセン

日本の育成の軸・発信源として、トレセン活動のさらなる充実
⇒ さまざまなトライ

U-12:20～30人 ナショナルトレセンへ8名目標

U-14:20～30人 九州トレセン常にベスト4を確保

U-16:国体を目指すチーム長崎U16
(常に本国体に出場し、上位を狙うU-15・16年代の活動)

U-17:地域キャンプから地域交流戦
(国体少年の部(U-16化)後のフォロー及び遅咲きの選手の掌握)



検討事項

- 2種・3種年代ライセンス義務化について
- A級U12 毎年1名推薦
- NFAフットボールアカデミー2011年より

2・3種・女子チームライセンス義務化

- 4種～2種・女子に登録するためにはチームにD級ライセンス以上のライセンス保有者がいなければならない。
- 2010年度調査および準備期間
- 2011年2月から協会よりインフォメーション
- 2011年4月より 2・3種D級・C級開催
- 現在未取得者約100名 1コース25名として4コースを2年間で開催
- 2011年～2012年までを猶予期間とする
- 2013年登録時から完全実施

どんなにそれが大変であっても、
100年の歴史の中でどこかで
やらなければならないとしたら、
我々の世代でやってみよう！



2010長崎フットボール維新！



子どもたちのために！
Players First!